(様式３) 目的設定表(令和02 **年度)　予算区分：**通常　　**要求区分：**令和 2年度当初予算　　**確定日（**令和02 **年** 03 **月** 19 **日)**

事業ｺｰﾄﾞ	04010217		**政策コード**	04	**政 策 名**	秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略			
事 業 名	レンタカーを活用した県内周遊促進事業		**施策コード**	01	**施 策 名**	地域の力を結集した「総合的な誘客力」の強化			
			指標コード	02	**施策目標(指標)名**	観光客のニーズに対応した受入態勢の整備と、観光人材・事業者の育成			
部 局 名	観光文化スポー	**課 室 名**	観光振興課	**班名**	調整・観光地育成班	**(tel)** 2661	**担当課長名**	成田光明	**担当者名** 門間勇也

評　価　対　象　事　業　（　計　画　）　の　内　容　　**事業年度** 令和02**年度　～　**令和99**年度**

1．事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)

２０２０年の東京オリンピック・パラリンピックを機に、訪日外国人の更なる増加が予想される中、秋田県の主要な交通結節点を起点に増加しているレンタカー利用者の県内周遊の促進を図ることで、訪日外国人の満足度を向上させ、秋田県への再訪意欲を高める。

2．住民ニーズの状況

①ニーズを把握した対象

■ 受益者　　□ 一般県民　　**(時期：** R01 **年** 08 **月)**

②ニーズの把握の方法

□ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 ■ ヒアリング □インターネット

□ その他の手法　**(具体的に** 一般社団法人秋田県レンタカー協会 **)**

③ニーズの具体的内容

全国的に訪日外国人旅行者のレンタカー利用数が増加している一方、本県においてはレンタカー利用を前提としたモデルコースが確立されておらず、レンタカー営業所において外国人旅行者に対して十分な観光案内が行えないため、県を挙げてのレンタカー利用促進への要望が多い。

◎把握してない場合の理由及び今後の方針

①理由	
②今後の方針	

3．事業目的（どういう状態にしたいのか）

ＦＩＴ（海外個人旅行者）を中心に、空港・駅等の交通結節点から自由度が高く県内周遊を容易に行えるレンタカーの利用が増加しているため、交通手段の乏しい地域へのレンタカーを利用した周遊を促す。

(重点施策推進方針との関係)　● 重点事業として要望　○ その他事業として要望

4．目的達成のための方法

①事業の実施主体	秋田県、レンタカー事業者
②事業の対象者･団体	台湾・アメリカ・オーストラリアを中心とした外国人旅行者

③達成のための手段

・レンタカー利用を想定したモデルコースの設定　・レンタカー内にて使用することを想定したモデルコース等紹介パンフレットの作成　・秋田県多言語観光案内サイトへの特設ページ設置　・レンタカー利用促進を目的とした海外ＯＴＡ（オンライン・トラベル・エージェント）等との共同プロモーションの実施

④比較した代替手段及び選択した手段の有効性

二次交通の更なる充実も検討したが、二次交通の運営主体は市町村であり、県が関わる余地が非常に小さいうえに即効性にも乏しい。仮に、県が直接的に二次交通の運営を行った場合、多額の運営コストを負担する必要があり、十分な費用対効果を得られない可能性が高い。よって、比較的低額なコストで事業実施が可能であるほか、全国的にも訪日外国人旅行者の利用が増加しているレンタカーを活用して県内周遊促進を図ることが効果的である。

5．事業の全体計画及び財源　　**単位(千円)**

順位	事 業 内 訳	左　の　説　明	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	全体(最終)計画
01	レンタカーを活用した県内周遊促進事業	ＦＩＴを中心に周遊を容易に行えるレンタカーの利用が増加しているため、交通手段の乏しい地域へのレンタカーを利用した周遊を促す。	10,247	10,247	10,247	10,247	10,247	10,247	0

財源内訳	左 の 説 明							
		10,247	10,247	10,247	10,247	10,247	10,247	0
国 庫 補 助 金	東北観光復興対策交付金	8,197	8,197	8,197	8,197	8,197	8,197	0
県　　債		0	0	0	0	0	0	0
そ　の　他		0	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源		2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	0

６．事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果	レンタカー利用を促進することで、外国人旅行者の県内周遊の利便性が向上することから、レンタカー貸渡実績の増加により交通手段の乏しい地域への周遊が促進される。

指標Ⅰ

指標名	レンタカー利用を想定したモデルコースの設定数	指標の種類
指標式	モデルコース数	●成果指標 ○業績指標

①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指　標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
目標a			5					
実績b								
東　北								
全　国								

②データ等の出典：業務委託実績報告書

③把握する時期　● 当該年度中 03月　○ 翌年度　　月　○ 翌々年度　　月

指標Ⅱ

指標名		指標の種類
指標式		○成果指標 ○業績指標

①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指　標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
目標a								
実績b								
東　北								
全　国								

②データ等の出典：

③把握する時期　○ 当該年度中　　月　○ 翌年度　　月　○ 翌々年度　　月

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来ない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性

外国人旅行者のレンタカー利用数が増加しているため、交通手段の乏しい地域へのレンタカーを利用した周遊促進を図ることで、外国人旅行者の満足度を向上し秋田県への再訪意欲を高める必要がある。

住民ニーズに照らした事業の必要性

秋田県レンタカー協会等において、レンタカー利用を前提とした秋田県内を周遊するモデルコースの設定及び情報発信を行うことで、交通手段の乏しい地域への周遊促進を図ることを求められている。

事業の県関与の必要性

□ 法令・条例上の義務　□ 内部管理事務　□ 県でなければ実施できないもの

■ 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

全県を対象としたモデルコースの設定など、県内において広域な展開が必要不可欠であることから、県が主体的に取り組む必要がある。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
	○重点事業　　○その他